

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1037.00	2024/6/3
High	1048.30	2024/6/3
Low	963.33	2024/6/7
Close	967.20	2024/6/7

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	5247.00	2024/6/3
High	5300.00	2024/6/3
Low	4854.00	2024/6/7
Close	4872.00	2024/6/7

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	911.76	2024/6/3
High	944.37	2024/6/6
Low	895.75	2024/6/3
Close	912.02	2024/6/7

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	4608.00	2024/6/3
High	4725.00	2024/6/7
Low	4509.00	2024/6/4
Close	4594.00	2024/6/7

ニュースエクスプレス

南アフリカ与党 ANC、選挙前のやや楽観的予想に反して過半数失う

南アフリカの現与党 ANC の議席数が総選挙前の調査の予測を下回り、過半数に届かなかったことから、先週のランド相場は混乱している。週の半ばのランドは1ヶ月ぶりの低水準になり、プラチナ価格は週後半に 2.5% 以上下がるなど圧力がかかった後、わずかに回復した。最終的な ANC の議席が減るほど、左派野党と組まずには連立内閣が設立しにくくなり、ビジネス界にとって理想的とは言えなくなる。南アフリカの政治的混乱の高まりはランド安を招き、プラチナ価格もさらに下がる可能性がある。南ア国債の利回り CDSは木曜日（6日）と金曜日（7日）に上昇。

アングロ・アメリカン・プラチナム、一難去るが、スピナウト案は消えず

BHP はアングロ・アメリカンに対する買収を撤回したが、少なくとも6ヶ月経たなければ新たなオファーを出さないということだ。今回の買収案にはアングロ・アメリカン・プラチナム（世界のプラチナ鉱山生産の約19% を占める）のスピナウトが含まれており、アムブラッツの親会社はそれを拒否したにもかかわらず、アムブラッツを傘下から外すことを発表した。今の時点では南アフリカのプラチナ生産にこれがどう影響するかは不明だが、アムブラッツが投資計画や分配により強い支配権を持つようになる可能性もあるが、同時により大きな株主の後ろ盾を失うことにもなる。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20240603.pdf#msdyntrtid=ZFOGJGuht5SJB6kDXXamxblxw8jeQ-PHewTKeZxU

Translated by Kazuko OSAWA

J R 西日本などが水素で走る鉄道車両を開発へ...燃料電池搭載、2030年代早期に実用化

JR 西日本は、トヨタ自動車、三菱電機と共同で、燃料電池を搭載し、水素を動力源とする鉄道車両の開発を始める。2030年代の早期に実用化し、架線のない非電化区間を走行するディーゼル車両を順次置き換える方針だ。環境への負荷を低減する狙いがある。

燃料電池車両は、水素を使って燃料電池で発電し、モーターを回して走る方式だ。共同開発では、トヨタが燃料電池や水素の貯蔵システム、三菱電機が電気系統を担う。20年代後半から、走行試験を始める。

<https://www.yomiuri.co.jp/economy/20240604-OYT1T50108/>

日本とEU水素分野での協力関係に関する工程表 共同作成の方針

日本とEUは、次世代のエネルギーとして期待される水素分野での両者の協力関係に関する工程表を共同で作成する方針を固めた。インフラ設備の仕様の標準化などをめぐって、協力を加速させることになる。

脱炭素社会に向けては、次世代のエネルギーとして水素の普及が期待されていて、日本では去年、新たな「水素基本戦略」を決定し、今後15年間で官民で15兆円を超える投資を行うとしているほか、欧米などでも技術開発や投資が活発になっている。関係者によると、こうした中で、日本とEUは、水素の分野での両者の協力関係に関する工程表を共同で作成する方針を固めた。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240603/k10014469091000.html>

WPIC直近の活動

WPICは今年も再び中国黄金協会のプラチナ委員会、Precious Metals Industrial Committee、China Material Recycling Associationとの共催で、7月8日から11日まで、上海プラチナウィーク (SPW)を開催する。4年目となる今年は中国と世界各国の PGM 市場関係者が多数参加し関係を強化する。詳細は[プラチナ豆知識 - 上海プラチナウィーク 2024](#)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2024/06/05>

パラジウムの需給展望の更新され、供給リスクと足元の需要増で、直近の供給不足が拡大して供給余剰に転じる時期は1年遅れるだろう。その原因、影響等の詳細については[プラチナ投資のエッセンスー 2024年5月号](#)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/investment-research>

プラチナ投資のエッセンスー2024年5月号では、パラジウムは供給不足が拡大するが、2026年からは供給余剰になる予測を発表した。供給余剰に転じるのは、リサイクルが増える からだが、この増加には今の問題が解決されることが前提だ。問題解決が長引けばリサイクル供給が増えるペースが落ち、供給不足が拡大して、供給が余剰に転じる時期が先延ばしされる。そうなればパラジウムの価値上昇への期待が膨んで、特に投資家のショートカバーを誘い、価格上昇へのサポートとなる可能性がある。詳細は[プラチナ展望ー2024年6月号](#)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/investment-research>



@wpicjapan